

第43回 事実に基づく小論文・エッセー募集要項

主催 公益財団法人 北野生涯教育振興会

当財団では、毎年生涯教育に関係のある身近な関心事を課題にした、小論文・エッセーの募集を行っています。

1. 課 題 コロナ禍から学ぶ

2. 趣 旨

2020年は「新型コロナウイルス」という未知の脅威に振り回された1年となりました。年が替わっても収まる気配が感じられません。海外では都市封鎖がなされ、日本でも緊急事態宣言が出されるなど、当たり前前の日常が奪われました。

しかしコロナ禍の中、医療従事者をはじめ、社会を支えるエッセンシャルワーカーの存在がいかに重要かという事実が浮かび上がりました。また、これまで必要性が指摘されながらも達成できなかったテレワークなどのデジタル化が急速に進んだことは前進と言えるでしょう。一方、デジタル環境の格差がむき出しになり、新たな問題を突きつけられるといった側面もありました。

そんなコロナ禍の中で、おうち時間が増えたことにより、趣味を見つけたり、学び直したり、新たな自分を発見できた方も多いのではないのでしょうか。

コロナ禍がいつまで続くのか誰にもわかりません。さらに様々な自然災害の傷が癒えない方々も大勢いらっしゃいます。今年は東日本大震災から10年ですが、10年経ってもまだ自宅に戻れない帰宅困難地域の方々、ふるさとの暮らしを失った方々もいらっしゃいます。コロナ禍に限らず、様々な災害からそれぞれに一步を踏み出す努力は続いているのです。

大変な状況であってもそこから学べること、だからこそ学べたことはきっとあるはずです。コロナ禍から学び得たこと、考えたこと、大切なことなど、ご自身の経験を綴ってください。

3. 応募資格 書く意欲のある方なら、特に制限はありません。ただし、第1席～第3席の入賞者は11/12(金)の表彰式に出席(正当な事由がない限り)できることを条件とします。

4. 応募方法 ① 応募は日本語に限ります。
② 縦書き400字詰原稿用紙8枚～10枚とします。(横書き不可)
③ ペン書き又はワープロ・パソコン原稿に限ります。(鉛筆不可)
④ 小論文・エッセーのほかに、原稿用紙1枚に
副題・氏名(ペンネーム不可)・年齢・郵便番号・住所
電話・職業・簡単な略歴・入賞歴・情報源(何によってこの「論文募集」を知ったか)を必ずご記入のうえ添付してください。

※応募者の個人情報、本募集に関わる選考および8.入賞発表等のみ
に使用し他に流用しません。その他、個人情報の取り扱いについては、
当財団ホームページにある「個人情報保護方針」をご参照ください。

5. 論文募集 ① 自作未発表の小論文・エッセーに限ります。
(既に発表した作品と類似の作品も応募できません)
② 内容は事実や体験に基づいたものに限ります。(創作不可)
③ 応募された小論文・エッセーは返却いたしません。
④ 入選作品(第1席～佳作)は作品集として出版いたします。

6. 締 切 日 2021年5月7日(金) ※必着

7. 審 査 員 石井 威望 東京大学 名誉教授
小笠原英司 明治大学 名誉教授
小 松 章 一橋大学 名誉教授
高 巖 麗澤大学大学院経済研究科 教授
耳 塚 寛 明 青山学院大学 学部特任教授
森 山 卓 郎 早稲田大学文学学術院 教授
油布 佐和子 早稲田大学教育総合科学学術院 教授
城 真 二 (公財)北野生涯教育振興会 常務理事

8. 入賞発表 2021年8月初旬に、入選者ご本人に直接通知します。
又、8月下旬、入選者を財団ホームページ上で発表します。
入選作品は、内容と氏名・年齢・職業・住所の一部(市区町村名
まで)が本や新聞、ホームページで発表される場合があります。

9. 賞 第1席(1編) 賞状および副賞50万円
第2席(3編) 賞状 // 副賞20万円
第3席(5編) 賞状 // 副賞5万円
佳作(10編) 賞状 // 副賞3万円

10. 記 念 品 入選作品(第1席～佳作)を1冊の本にまとめた作品集を
応募者全員に11月下旬 記念品として贈呈します。

11. 表 彰 式 2021年11月12日(金)
会場: The Okura Tokyo (ホテルオークラ東京)
※第1席～第3席の入賞者は出席

12. 著作権・出版権 入選作品(第1席～佳作)の著作権・出版権は
公益財団法人 北野生涯教育振興会に帰属します。

13. 提 出 先 〒153-0053 東京都目黒区五本木1-12-16
問 合 せ 先 公益財団法人 北野生涯教育振興会 論文募集係
TEL 03-3711-1111